

じゃあ、どうして社会科はできたの！？



私に聞かないで・・・。

アメリカの影響を受けながら、民主化をすすめる戦後の教育の目玉でした。



社会生活の中で、問題解決に向けた自主的な学習活動が大切にされました。また、経験を通じて総合的に学ぶことが目指された教科として誕生しました。

なんか生活や総合的な学習の時間に似てない！？



だから、私に聞かないで・・・。

1989年に、1～2年生では、社会科・理科と別々だったものが統合されて「生活科」ができました。また、1998年には、社会科も授業時数の削減が行われました。それに伴い、問題解決学習である「総合的な学習の時間」ができました。



ちなみに、1958年には社会科から道徳教育が分離しました。そのため、それまで道徳教育の要素も担っていた社会科は、その役割を低下させました。